

みつばち共和国

La République des Abeilles

国際共同制作作品 新作

メーテルリンク作『蜜蜂の生活』に基づく

作・演出：セリーヌ・シェフェール

日本語台本：能祖将夫

台本下訳：井上由里子 通訳：平野暁人

出演：たきいみき、永井健二、仲村悠希、坂東芙三次〔五十音順〕

日時 2020年10月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)
各日 10:30 開演* / 15:30 開演 (上演時間:約60分)
*10:30は「ファミリー回」となります。
お子様連れのお客様の観劇を推奨し「ファミリー割引」が適用されます。
※お子様連れでないお客様の観劇をお断りするものではございません。

会場 静岡県舞台芸術公園 屋内ホール「楯円堂」
(静岡市駿河区平沢100-1)

◎推奨年齢：7歳～ ◎未就学児入場不可。

チケット [全席自由 / 入場整理番号付き]
一般：4,200円 / ペア割引：3,700円 (2名様で1枚につき)
ゆうゆう割引：3,500円 [満60歳以上の方]
学生割引：[大学生・専門学校生]2,000円 / [高校生以下]1,000円
ファミリー割引 高校生以下を同伴の大人1名につき3,300円
※10:30の「ファミリー回」のみ適用。※電話・窓口にてお取り扱い



▲写真：2019年フランス・アヴィニョン演劇祭初演

主催・製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター
共同制作：カンパニー・ル・メロドローム (Le mélodrOme)
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
後援：在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本
ふじのくに芸術祭共催事業

◎各回の客席数は会場収容人数の50%以下までとし、隣席と十分な間隔を保ちます。

◎本公演は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2019年初演時からは演出上の変更を施した上演となります。

◀新型コロナウイルス感染症対策▶

ご来場のお客様へご協力をお願い

●ご来場前の体調チェック、またご来場の際にはマスク着用をお願いしております。●会場入口にて、サーモグラフィ / 非接触型体温計にて検温を行ない、37.5度以上の場合にはご入場をお断りいたします。この他、詳細は公式サイトをご覧ください。

『みつばち共和国』へのお問い合わせ・取材のご希望は「SPAC-静岡県舞台芸術センター広報担当：坂本」までお願いいたします。
TEL：054-208-4008 (舞台芸術公園) / FAX：054-203-5732 / E-mail：sakamoto@spac.or.jp

■自然豊かな舞台芸術公園の中で観る、 みつばちたちの神秘的な物語

2019年にフランス・アヴィニョン演劇祭で初演され、話題となった演劇作品『みつばち共和国』。蜜蜂の生態と神秘に迫る幻想的な物語を、この度、SPACが日本語版として新たに国際共同制作いたします。

原作は、作家メーテルリンクをノーベル文学賞受賞に導いた代表作でもあるエッセイ『蜜蜂の生活』。詩情あふれる蜜蜂の生態描写の煌きそのままに、フランス人演出家セリーヌ・シェフェールはこれを詩的な言葉とダンス、そしてアニメーションで立体的に描き、子どもも大人も心から楽しむことができる舞台作品にしました。

創作と上演は、“自然と芸術の共生”を謳う静岡県舞台芸術公園の広大な敷地の中でも、最奥に建つ屋内ホール「楯円堂」で行われます。緑に囲まれたこの場所で、SPACの新たなファミリー向けレパートリー作品が誕生します！

■SPAC 作品、半年ぶりの公演再開、第一弾！

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、SPACでは今年2月より様々な公演が中止となりましたが、秋より公演活動を再開いたします。SPAC作品の公演活動再開第一弾となる本作では、俳優と観客、また俳優同士のディスタンスを十分に取り、また発声する俳優を限定するなど、フランスでの初演時から一部演出を変更し、感染症対策に取り込みながら上演します。また9月17日より開始される稽古は、フランスと日本を会議アプリでつなぎ、リモートで行われます。

移動が制限され物理的に隔てられた状況でも、SPACが国際共同制作の可能性を模索し続けるのは、異なる価値観や多様な視点に接する機会がこれまでも増して必要であり、そこに舞台芸術の果たす役割が大きいと考えるからです。

メーテルリンクが詩的な言葉で綴った自然への眼差し、畏敬の念を、セリーヌ・シェフェールは「生の物語」として紡ぎます。それは、親しみやすいおとぎ話のようでありながら、人間社会の在り方にも多くの示唆を与えているのです。

◎プロフィール

セリーヌ・シェフェール Céline Schaeffer



© Céline Schaeffer

演出家、ビジュアル・アーティスト。フランス生まれ。造形美術を学び、作家ジョルジュ・ペレックの小説に着想を得たインスタレーションを発表し注目される。1995年より演出助手として舞台に関わり、99年以降、言語実験的劇作家として知られる劇作家・演出家ヴァレール・ノヴァリナとの協働を重ね、自身も演劇・言語・美術を横断する創作で注目される。2019年カンパニー・ル・メロドローム (Le mélodrOme) を設立、フランス・アヴィニョン演劇祭で『みつばち共和国』を創作・初演し、反響を呼んだ。